

## 野口謙蔵記念館アーティスト・イン・レジデンス 2025 募集要項

### 1-1 目的

東近江市蒲生地区は、大海人皇子と共に狩猟に訪れた額田王が詠んだ和歌「あかねさす紫野行き標野行き 野守は見ずや君が袖振る」の舞台蒲生野があることで知られています。この地出身の洋画家・野口謙蔵(1901-1944)は、東京美術大学(現・東京芸術大学)で黒田清輝や和田英作に油彩画を学び、同級生が卒業後フランスへ留学する中、帰郷して生涯を蒲生野の情景を描くことに捧げました。彼の作品は、当時油彩で日本画的な詩情を表現する新しいものとして高く評価され、没後80年近くたつ今も多くの人に愛されています。そんな野口謙蔵が昭和8年に建てたアトリエを再現建築した施設が、野口謙蔵記念館です。この施設を拠点としてアーティスト・イン・レジデンスを開催します。

アーティストが東近江市の魅力を発掘し、その魅力を芸術作品を通して発信することで、住民や参加者たちがさらなる地域への愛着や希望を感じられることを期待しています。進取の精神に富んだ人々が豊かな文化を生み出した東近江市で、新たな芸術表現を生み出すアーティストが本事業を通して生まれることを願っています。

### 1-2 野口謙蔵記念館の周辺環境

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、地形は東西に長く、東に鈴鹿山系、西に琵琶湖があり、愛知川が市域の中央を流れています。また、市の南西部には日野川が流れています。この両川の流域には平地や丘陵地が広がり、緑豊かな田園地帯を形成しています。野口謙蔵記念館がある東近江市綺田町は、市の南西部に位置しています。記念館の周辺には、田畑と丘陵地を望むことができ、謙蔵が描いた蒲生野の情景の面影が残っています。また、近隣にはガリ版(謄写版)を発明した堀井新次郎父子の本宅がガリ版伝承館として残され、地域住民やガリ版作家がガリ版文化を発信しています。

東近江市は近江商人発祥の地として知られており、近江商人が地元にもたらした美術品や文化が今も各地に残されています。ほかにも、東近江大凧や江州音頭など、豊かな歴史文化を有する地域です。

## 2 事業期間

令和7年10月15日(水)～12月21日(日)

## 3 募集人数

1名(グループは不可)

#### 4 募集条件

- ・ 現在活動している国内在住のアーティストであること。
- ・ 制作のジャンルは問わない。ただし、制作場所の都合上、制作中に大きな音が出ないこと、火気・動物を使わない手法であること。
- ・ アーティストの居住地または所在地から活動場所(野口謙蔵記念館)まで、活動日に通えること。
- ・ 18歳以上であること(令和7年4月1日時点)
- ・ 地域の人々に対して、芸術文化への関心を促す活動ができること。
- ・ 地域の人々との交流が、制作活動や成果展に反映される計画になっていること。
- ・ 期間中、東近江市の魅力に触れ、フィールドワークを通じて地域の人々との交流を積極的に行い、制作すること。
- ・ 期間中、少なくとも1回以上、アーティストトーク、レクチャー、ワークショップなどの交流事業を実施すること。
- ・ 期間中、少なくとも1点以上の作品を制作し、主催者と協議の上で成果発表を行うこと。
- ・ 制作や展示等の作業は基本的にアーティスト自身で行うこと。
- ・ 設営から撤去まで主体的に行うこと。
- ・ 活動内容が活動拠点施設を汚染したり改変したりするものでないこと。
- ・ 活動終了後、施設の現状復帰が可能であること。
- ・ 日本語での意思疎通ができること。
- ・ 地域住民や職員等と良好な関係をもって交流ができること。
- ・ 健康状態が良好であること。
- ・ 健康保険、傷害保険、旅行保険等は支援内容に含まないため、必要に応じてアーティスト自身で加入すること。本市は、保険加入等に関する責務を負わない。
- ・ 社会情勢の変化により、事業が変更または中止となる場合がある点を了承すること。
- ・ 全事業終了後1か月以内に活動記録を作成し、データとそれを印刷したものを各1部を提出すること。
- ・ 教養講座や趣味活動等の成果発表となるようなものでないこと。
- ・ 過去3か年において、居住する市区町村に納付すべき税を滞納していないこと。
- ・ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者でないこと。
- ・ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。)第2条第2号に規定する暴力団又は第2条第6号に規定する暴力団員でないこと。
- ・ 活動中に宗教、政治活動を行わないこと。
- ・ 募集条件に同意し、応募から事業終了まで責任を持って行えること。

## 5 支援内容

### 【制作活動費】

調査・材料費、展示準備・撤去費、広報費等を助成します。

200,000 円

100,000 円ずつを2回に分けて支給します。支給時期の目安は、事業開始から2週間後と、事業期間終了後2週間以内です。

### 【滞在費】

東近江市内に滞在して調査や制作、展示準備等を行った場合、滞在中の補助として1日あたり 2,000 円を助成します。

上限額:100,000 円(50 日分)

活動日の報告に基づき、約1か月ごとに清算します。上限額を超える支出は作家の負担となります。

### 【交通費】

東近江市内に滞在して調査や制作、展示準備等を行った場合、その交通費(アーティスト等の居住地又は所在地の最寄主要駅から東近江市までの電車運賃、もしくは高速道路代)を往復 50 回分まで助成します。

上限額:150,000 円

活動日の報告に基づき、約1か月ごとに清算します。上限額を超える支出は作家の負担となります。

※ 事業内容が募集条件と異なると判断した場合は、経費の返還を求めることがあります。

## 6-1 活動場所

原則として野口謙蔵記念館(滋賀県東近江市綺田町 442)を拠点に活動してください。活動内容により他の施設を利用する必要がある場合は、アーティスト自身で手配してください。必要であれば、東近江市から施設について情報提供を行うことが可能です。

## 6-2 宿泊と移動

野口謙蔵記念館周辺に宿泊施設はありません。原則として、アーティストの居住地又は所在地から都度通うようにしてください。また、記念館周辺の公共交通機関は本数が少ないため、車で通うことを推奨します。自宅等から通うことが困難な場合は、作家自身で宿泊施設等を確保してください。また、宿泊に対する支援は行いません。

## 7 活動の記録

東近江市は、本事業におけるアーティストの作品や活動を写真、映像で記録します。主催者側の活動の記録にご協力をお願いします。

本事業で制作された作品の著作権は、すべてアーティストに帰属しますが、主催者が記録した写真、映像等の著作権及び公益に資する広報宣伝のためにそれらを使用する権利は、主催者に帰属するものとします。また、主催者及び主催者の了承を受けた者は、これらすべてを無償で使用できるものとします。

期間中、マスコミ各社からの取材申し込みがあった場合は、可能な限り協力してください。制作に支障をきたしたり、プライバシーを侵害されたりする恐れがある場合は主催者に申し出、取材を断ることができます。

## 8 応募について

指定の応募用紙に記入の上、期限までに郵送またはメールで提出してください。応募用紙は市ホームページや東近江市役所博物館構想推進課(旧農業管理センター内)で入手できます。

### 【応募期間】

- ・ 令和7年6月1日(日)～7月11日(金)
- ・ メールの場合は7月11日(金)午後5時まで、郵送の場合は当日消印有効とします。

### 【提出書類】

- ・ 応募用紙
- ・ 過去6か月以内に撮影された顔写真1点(応募用紙に添付のこと)
- ・ 作品資料  
A4 サイズ用紙片面 10 枚以内に作品画像、略歴、テーマ、コンセプト等をまとめたもの。映像作品の場合は、5分以内に編集したものを動画サイトやインターネット上にアップロードし、URL を記載すること。

### 【宛先】

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号

東近江市役所 文化スポーツ部博物館構想推進課

Email [hakubutsukan@city.higashiomi.lg.jp](mailto:hakubutsukan@city.higashiomi.lg.jp)

- ※ メール容量が 10MB を超えると受信することができません。容量が大きい場合は、ファイル転送サービスを使うか、郵送で送ってください。
- ※ ZIP ファイルは受信できません。
- ※ メールで応募された場合、土日祝日を除く3日以内に受信確認メールを送信します。届かない場合は、博物館構想推進課までお問い合わせください。
- ※ 提出された資料は返却しません。

## 9 選考

一次選考 書類選考(応募数によって省略となる場合有)

二次選考 面接(8月中旬を予定。オンライン対応可)

※ 応募書類の内容について追加の資料提出、質問に対する回答を求める場合もあります。

## 10 審査員

- ・ 藤井 俊治(画家・成安造形大学講師)
- ・ 荒井 保洋(滋賀県立美術館主任学芸員)
- ・ 西澤 沢美(蒲生地区まちづくり協議会副会長)

## 11 結果通知

一次選考 応募者全員にメールで通知

二次選考 面接者全員にメールで通知

※ 選考結果に関する質問及び異議申し立てには一切応じられません。

## 12 問合せ先

東近江市文化スポーツ部博物館構想推進課

TEL 0748-24-5574

FAX 0748-24-5571

Email [hakubutsukan@city.higashiomi.lg.jp](mailto:hakubutsukan@city.higashiomi.lg.jp)